



2025年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月14日

上場会社名 株式会社マイクロアド 上場取引所 東
コード番号 9553 URL http://www.microad.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 渡辺 健太郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 福田 裕也 TEL 050-(1753)-0440
定時株主総会開催予定日 2025年12月19日 配当支払開始予定日 -
有価証券報告書提出予定日 2025年12月19日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（決算説明動画配信予定）

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期の連結業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	15,670	14.3	613	99.4	531	80.2	195	△31.0
2024年9月期	13,712	6.6	307	△63.1	294	△60.1	282	△50.0
(注) 包括利益	2025年9月期		378百万円 (236.2%)		2024年9月期		112百万円 (△84.1%)	
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率	
	円 銭		円 銭		%		%	
2025年9月期	7.10		7.10		5.8		6.1	
2024年9月期	10.27		10.03		8.9		3.9	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	9,149	3,897	38.2	127.90
2024年9月期	8,394	3,897	39.0	118.76

(参考) 自己資本 2025年9月期 3,497百万円 2024年9月期 3,271百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	781	△1,149	162	2,354
2024年9月期	338	△1,805	997	2,478

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,444	11.3	815	33.0	761	43.4	663	240.1	24.26

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：有
新規 ー社 （社名）、除外 1社 （社名）株式会社MADS

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（3）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2025年9月期	27,831,354株	2024年9月期	27,624,000株
2025年9月期	488,767株	2024年9月期	264株
2025年9月期	27,459,196株	2024年9月期	27,528,463株

（参考）個別業績の概要

1. 2025年9月期の個別業績（2024年10月1日～2025年9月30日）

（1）個別経営成績（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	12,364	21.5	464	43.7	489	36.9	595	112.4
2024年9月期	10,177	16.5	323	△32.6	357	△24.1	280	△35.2

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期	21.70	21.69
2024年9月期	10.19	9.95

（注）2025年9月期については主力サービスのUNIVERSEにおける、業界業種毎のプロダクトの稼働アカウント数が順調に拡大し売上高・売上総利益が前期比で増加いたしました。一方で、前期に人員を大量採用したことから、2025年9月期においては人員の採用を抑制したことで、販売管理費の増加が限定的に推移し、営業利益以下の各段階利益が拡大いたしました。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	6,763	2,229	32.5	80.31
2024年9月期	5,414	1,553	28.5	56.24

（参考）自己資本 2025年9月期 2,195百万円 2024年9月期 1,544百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性がございます。なお、上記業績予想に関する事項は、「添付資料」3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	13
(会計方針の変更に関する注記)	13
(セグメント情報等の注記)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループの事業はデータプラットフォーム事業の単一セグメントであります。セグメントを構成する主要なサービスとして、①データプロダクトサービス、②コンサルティングサービスの2つのサービスによって事業展開しております。当連結会計年度における、それぞれのサービスの経営状況は下記のとおりです。

①データプロダクトサービス

データプロダクトサービスは「UNIVERSE」を中心とした、企業のマーケティング活動を支援するデータプラットフォームです。様々な業界・業種に特化した多様なデータを保有し、それらを有機的に統合分析することで、消費者の購買プロセスの可視化と予測、そのデータを活用した広告配信から顧客属性等の分析レポート作成まで幅広く企業のマーケティング活動を支援しております。

「UNIVERSE」の拡大にあたっては、新たなデータパートナーとの提携による業種別プロダクトの性能強化によって、より顧客のニーズや規模に合致したサービス提供を行っております。また営業体制としては顧客の属性毎に最適化した営業組織を編成し、顧客ニーズを的確にとらえた製品開発やサービス提供体制を整えております。これらの施策に加え、2024年4月には新卒採用による営業人員の大幅な強化を行い、それら人員の活動が2025年度を通じて本格化したことによって、主要KPIである稼働アカウント数の順調な拡大を実現しております。また、生成AI等を活用した業務効率化や業務削減を実施することで営業効率を高め、様々な原価削減施策を実施したことで利益率が向上し、売上高・売上総利益ともに前年同期比で増加いたしました。

これらの結果、データプロダクトサービスの売上高は6,991百万円（前年同期比2.3%増）、売上総利益は2,605百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

②コンサルティングサービス

コンサルティングサービスは、「メディア向けコンサルティングサービス」と、「海外コンサルティングサービス」の2つのサービスが属しております。

メディア向けコンサルティングサービスは、日本国内においてインターネットメディアの広告枠を預かり、様々な広告サービスを組み合わせることでメディア企業の広告収益を最大化するサービスを提供しております。特に当社が提供する「MicroAd COMPASS」においてはメディア企業に対する広告枠の企画提案や、提供する広告サービスの改善などによって事業を拡大しております。

海外コンサルティングサービスは、台湾を中心としたデジタルマーケティングのコンサルティングサービスを提供しております。昨今の訪日観光客の急速な増加に伴い、日系企業のインバウンドマーケティングの需要が拡大いたしました。加えて、新規事業として2025年9月期第2四半期より、海外消費者向けに日本の人気VTuberなどのIP（知的財産）とメーカーの商品とのタイアップ企画から販売までを行う株式会社IPmixerを設立し、海外消費者向けの物販事業を開始したことで、前年同期比では売上・売上総利益ともに増加しております。

これらの結果、コンサルティングサービスの売上高は8,679百万円（前年同期比26.1%増）、売上総利益は2,202百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

今後の業績見通し等を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、2025年9月期の連結決算において繰延税金資産348百万円を計上いたしました。これに伴う法人税等調整額（△は利益）△348百万円と、その他要因を合わせ、2025年9月期における連結決算において、法人税等調整額△383百万円を計上いたしました。加えて、当社が保有する投資有価証券の一部について、取得価額に比べて時価または実質価額が著しく低下したため、2025年9月期の連結及び個別決算において、減損処理による投資有価証券評価損329百万円を特別損失として計上いたしました。また、データプロダクトサービス及びコンサルティングサービスそれぞれにおいて、開発費の一部をソフトウェアとして資産計上しておりましたが、今後の回収可能性を検討し保守的に将来の収益見込み等を勘案した結果、一部ソフトウェアの帳簿価額の全額を減損処理し、特別損失137百万円を計上することといたしました。以上の結果、当連結会計年度における売上高は15,670百万円（前年同期比14.3%増）、営業利益は613百万円（前年同期比99.4%増）、経常利益は531百万円（前年同期比80.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は195百万円（前年同期比31.0%減）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（資産）

当連結会計年度末における流動資産は5,319百万円となり、前連結会計年度末に比べ394百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が539百万円増加したことによるものであります。固定資産は3,830百万円となり、前連結会計年度末に比べ361百万円増加いたしました。これは主に繰延税金資産が348百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は、9,149百万円となり、前連結会計年度末に比べ755百万円増加いたしました。

（負債）

当連結会計年度末における流動負債は4,968百万円となり、前連結会計年度末に比べ800百万円増加いたしました。これは主に短期借入金が300百万円増加したこと、並びに支払手形及び買掛金が264百万円増加したことによるものであります。固定負債は283百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円減少いたしました。これは主にリース債務が22百万円減少したこと、並びに長期借入金が19百万円減少によるものであります。この結果、負債合計は5,252百万円となり、前連結会計年度末に比べ755百万円増加いたしました。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産合計は3,897百万円となり、前連結会計年度末に比べ大きな変動はありませんでした。この結果、自己資本比率は38.2%（前連結会計年度末は39.0%）となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて123百万円減少し、2,354百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは781百万円の増加（前年同期間は338百万円の増加）となりました。これは主に投資有価証券評価損が337百万円発生したこと、仕入債務が309百万円増加したこと並びに減価償却費が231百万円発生したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは1,149百万円の減少（前年同期間は1,805百万円の減少）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出で476百万円減少したこと、短期貸付けによる支出で217百万円減少したこと、並びに無形固定資産の取得による支出で188百万円減少したことによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは162百万円の増加（前年同期間は997百万円の増加）となりました。これは主に短期借入金が300百万円増加したこと、並びに株式の発行による収入が20百万円増加したことによるものであります。

（4）今後の見通し

2026年9月期の業績予想につきましては、データプロダクトサービスに属する、主力事業であるUNIVERSEにおいて新たに他社プラットフォームへのデータ接続が可能になったことで、既存の自社プラットフォームに加え、他社プラットフォームを活用した新規の顧客開拓を進める事によって継続的な売上の拡大を見込んでおります。また、2025年9月期に注力した生産性向上施策によって利益率の向上を実現したことで、売上総利益の拡大も見込んでおります。コンサルティングサービスに関しては、海外コンサルティングにおいて引き続き訪日観光客数の増加に合わせてインバウンドマーケティングの需要拡大が予想されることと、新たに設立した株式会社IPmixerによる物販売上もさらなる拡大を見込んでおります。

以上から、2026年9月期の連結業績につきましては、売上高17,444百万円（前年同期比11.3%増）、営業利益815百万円（前年同期比33.0%増）、経常利益761百万円（前年同期比43.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益663百万円（前年同期比240.1%増）と予想しております。

本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が本資料の発表時点において入手している情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、日本基準の会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,478,185	2,354,619
受取手形及び売掛金	1,676,439	2,216,255
有価証券	—	157,375
差入保証金	228,390	200,801
商品	1,815	1,985
短期貸付金	165,079	244,739
その他	404,072	163,594
貸倒引当金	△28,377	△19,710
流動資産合計	4,925,603	5,319,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	314,996	309,441
減価償却累計額及び減損損失累計額	△82,971	△94,709
建物及び構築物（純額）	232,025	214,732
工具、器具及び備品	793,298	772,674
減価償却累計額及び減損損失累計額	△537,451	△512,750
工具、器具及び備品（純額）	255,847	259,924
使用権資産	181,641	194,020
減価償却累計額	△120,408	△155,663
使用権資産（純額）	61,232	38,357
有形固定資産合計	549,105	513,013
無形固定資産		
ソフトウェア	375,930	344,982
のれん	1,126,669	1,000,596
その他	350,351	250,836
無形固定資産合計	1,852,951	1,596,415
投資その他の資産		
投資有価証券	604,685	779,853
長期貸付金	120,336	58,507
繰延税金資産	164,012	512,352
その他	182,153	399,327
貸倒引当金	△4,276	△29,450
投資その他の資産合計	1,066,912	1,720,590
固定資産合計	3,468,969	3,830,019
資産合計	8,394,573	9,149,680

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当連結会計年度 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,215,441	1,480,358
短期借入金	2,180,000	2,480,000
1年内返済予定の長期借入金	19,800	19,800
リース債務	25,787	26,558
未払法人税等	75,701	159,191
その他	651,641	802,826
流動負債合計	4,168,372	4,968,734
固定負債		
長期借入金	205,020	185,220
リース債務	35,986	13,030
資産除去債務	87,828	85,665
固定負債合計	328,835	283,915
負債合計	4,497,207	5,252,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,012,724	1,033,554
資本剰余金	1,554,525	1,181,239
利益剰余金	615,040	1,183,071
自己株式	△240	△112,381
株主資本合計	3,182,051	3,285,483
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	212,639	208,479
その他有価証券評価差額金	△123,529	3,054
その他の包括利益累計額合計	89,110	211,533
新株予約権	9,523	33,665
非支配株主持分	616,680	366,347
純資産合計	3,897,365	3,897,029
負債純資産合計	8,394,573	9,149,680

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高	13,712,977	15,670,556
売上原価	9,633,266	10,862,189
売上総利益	4,079,711	4,808,366
販売費及び一般管理費	3,772,226	4,195,246
営業利益	307,485	613,120
営業外収益		
受取利息	6,354	11,931
受取配当金	2,518	4,385
売買目的有価証券運用益	12,999	—
為替差益	—	38,380
消費税差額	4,789	—
その他	6,609	12,265
営業外収益合計	33,271	66,963
営業外費用		
支払利息	11,055	24,702
持分法による投資損失	10,823	60,275
先物取引運用損	9,336	20,391
有価証券運用損	—	9,946
為替差損	10,293	—
その他	4,463	33,439
営業外費用合計	45,971	148,755
経常利益	294,785	531,328
特別利益		
投資有価証券売却益	2,640	12
段階取得に係る差益	66,192	—
為替換算調整勘定取崩益	—	3,003
資産除去債務戻入益	—	14,495
特別利益合計	68,832	17,511
特別損失		
投資有価証券評価損	5,144	329,835
関係会社株式売却損	—	5,840
固定資産除却損	—	137,472
その他	460	61,669
特別損失合計	5,604	534,817
税金等調整前当期純利益	358,013	14,021
法人税、住民税及び事業税	70,628	167,162
法人税等調整額	11,101	△383,585
法人税等合計	81,729	△216,423
当期純利益	276,284	230,444
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に 帰属する当期純損失(△)	△6,376	35,366
親会社株主に帰属する当期純利益	282,660	195,077

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
当期純利益	276,284	230,444
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△39,654	21,399
其他有価証券評価差額金	△124,076	126,584
その他の包括利益合計	△163,731	147,984
包括利益	112,552	378,428
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	127,197	317,501
非支配株主に係る包括利益	△14,644	60,927

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	990,830	1,540,860	332,380	△240	2,863,830
当期変動額					
新株の発行	21,894	21,894			43,789
親会社株主に帰属する当期純利益			282,660		282,660
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減		△8,229			△8,229
当期変動額合計	21,894	13,665	282,660	—	318,220
当期末残高	1,012,724	1,554,525	615,040	△240	3,182,051

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	244,026	547	244,573	—	621,525	3,729,929
当期変動額						
新株の発行						43,789
親会社株主に帰属する当期純利益						282,660
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△31,386	△124,076	△155,463	9,523	△4,844	△150,784
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減						△8,229
当期変動額合計	△31,386	△124,076	△155,463	9,523	△4,844	167,436
当期末残高	212,639	△123,529	89,110	9,523	616,680	3,897,365

当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,012,724	1,554,525	615,040	△240	3,182,051
当期変動額					
新株の発行	20,829	20,829			41,659
自己株式の取得				△112,141	△112,141
親会社株主に帰属する当期純利益			195,077		195,077
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減		△21,163			△21,163
欠損填補		△372,952	372,952		—
当期変動額合計	20,829	△373,286	568,030	△112,141	103,432
当期末残高	1,033,554	1,181,239	1,183,071	△112,381	3,285,483

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	212,639	△123,529	89,110	9,523	616,680	3,897,365
当期変動額						
新株の発行						41,659
自己株式の取得						△112,141
親会社株主に帰属する当期純利益						195,077
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△4,160	126,584	122,423	24,141	△250,333	△103,768
連結子会社に対する持分変動に伴う資本剰余金の増減						△21,163
欠損填補						—
当期変動額合計	△4,160	126,584	122,423	24,141	△250,333	△336
当期末残高	208,479	3,054	211,533	33,665	366,347	3,897,029

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	358,013	14,021
減価償却費	221,080	231,799
のれん償却額	43,823	126,073
段階取得に係る差損益 (△は益)	△66,192	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	337,063
固定資産除却損	—	137,472
投資有価証券売却損益 (△は益)	△2,179	—
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	5,840
持分法による投資損益 (△は益)	10,823	60,275
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,236	16,772
受取利息及び受取配当金	△8,873	△16,317
支払利息	11,055	24,702
為替差損益 (△は益)	—	△54,075
資産除去債務戻入益	—	△14,495
売上債権の増減額 (△は増加)	△114,899	△602,576
棚卸資産の増減額 (△は増加)	11,849	△170
仕入債務の増減額 (△は減少)	59,276	309,359
差入保証金の増減額 (△は増加)	9,598	27,589
その他	△56,606	243,475
小計	478,004	846,811
利息及び配当金の受取額	8,873	16,317
利息の支払額	△11,055	△24,702
法人税等の支払額	△137,473	△56,757
営業活動によるキャッシュ・フロー	338,349	781,667
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△175,818	△84,289
無形固定資産の取得による支出	△277,748	△188,182
投資有価証券の取得による支出	△248,229	△182,038
投資有価証券の売却による収入	11,294	281
関係会社株式の取得による支出	—	△20,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△476,971
短期貸付けによる支出	△127,979	△217,765
短期貸付金の回収による収入	54,202	15,123
長期貸付けによる支出	△210,000	△38,000
長期貸付金の回収による収入	27,500	17,500
差入保証金の差入による支出	△47,501	△12,748
差入保証金の回収による収入	1,387	37,851
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△812,884	—
その他	—	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,805,777	△1,149,229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,000,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△6,600	△19,800
株式の発行による収入	22,864	20,748
自己株式の取得による支出	—	△112,141
非支配株主からの払込みによる収入	9,800	—
リース債務の返済による支出	△28,327	△23,949
その他	—	△2,813
財務活動によるキャッシュ・フロー	997,737	162,043
現金及び現金同等物に係る換算差額	△36,377	81,952
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△506,068	△123,565
現金及び現金同等物の期首残高	2,984,253	2,478,185

現金及び現金同等物の期末残高

2,478,185

2,354,619

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）

当連結会計年度において、連結子会社であった株式会社MADSの株式を一部譲渡したことにより、連結の範囲から除外し持分法適用の範囲に含めております。

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用） 「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当連結会計年度の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日）第65-2項（2）ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による連結財務諸表への影響はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループはデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	データプロダクトサービス	コンサルティングサービス	合計
外部顧客への売上高	6,831,137	6,881,840	13,712,977

2. 地域ごとの情報

（1）売上高

（単位：千円）

日本	台湾	その他アジア	合計
11,237,721	2,254,050	221,206	13,712,977

（注） 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

（2）有形固定資産

（単位：千円）

日本	台湾	その他アジア	合計
486,295	61,845	964	549,105

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

（単位：千円）

	データプロダクトサービス	コンサルティングサービス	合計
外部顧客への売上高	6,991,370	8,679,185	15,670,556

2. 地域ごとの情報

（1）売上高

（単位：千円）

日本	台湾	その他アジア	合計
13,098,501	2,097,897	474,156	15,670,556

（注） 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

（2）有形固定資産

（単位：千円）

日本	台湾	その他アジア	合計
471,311	41,082	619	513,013

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2023年10月1日 至 2024年9月30日）

のれんの償却額は43,823千円、未償却残高は1,126,669千円であります。

当社グループはデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報は記載しておりません。

当連結会計年度（自 2024年10月1日 至 2025年9月30日）

のれんの償却額は126,073千円、未償却残高は1,000,596千円であります。

当社グループはデータプラットフォーム事業の単一セグメントであるため、報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報は記載しておりません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	118.76円	127.90円
1株当たり当期純利益	10.27円	7.10円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	10.03円	7.10円

（注）1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当連結会計年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	282,660	195,077
普通株主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益（千円）	282,660	195,077
普通株式の期中平均株式数（株）	27,528,463	27,459,196
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額（千円）	—	—
普通株式増加数（株）	651,434	5,323
（うち新株予約権（株））	（ 651,434）	（ 5,323）
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	新株予約権3種類（普通株式 185,000株）	新株予約権3種類（普通株式 181,800株）

（重要な後発事象）
該当事項はありません。